

しゅうれんかい (修練会) Q&A

公益財団法人豊島修練会 2016年5月19日号 (通算第7号)

子どもとの Q&A (ぎもんやしつもんのある子はすばらしいです!)

Q : 宿題をつい忘れてします。どうしたら忘れないようにできますか?

A : 宿題を忘れるというのは、次のどちらでしょうか?

- ①友達と遊ぶ、スポーツをするなど、楽しいことが多くて、つい忘れてしまう。
 - ②勉強がよく分からないので、やりたくないと思っているうちに忘れてしまう。
- ①のようやることが多いのはとても素晴らしいことです。宿題を先にやって、それから楽しいことをしたらいいと思います。でも、友達と遊ぶ約束をしてしまうこともあります。机の上に、「宿題を忘れない」と大きく書いておいたらどうでしょうか。
- ②の場合は、授業中がんばりましょう。分からないことは先生にどんどん質問しましょう。勉強が分かってくると、宿題が平気になり、忘れることが減ってきますよ。



大人との Q&A (パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を!)

Q : 新1年生の子どもの家庭訪問があるそうです。どのような迎え方をしたらいいですか?お茶などの接待はしたほうがいいですか?

A : 家庭訪問は、担任した子供の様子や家庭の考え方などを知るために行います。ですから、茶菓の接待は一切する必要はありません。それよりも、担任の先生に「伝えたいこと」とや「希望」などを簡単にまとめておくとよいと思います。

子どものことで相談したいこと、悩みなどがあったらそれを担任の先生と話題にできよう人間関係が大切です。その関係作りのきっかけとして家庭訪問を活用してください。

学校の先生がたの Q&A (先生にもわからないことがある!)

Q : 学級担任として、学級経営や授業に自信がありません。どうしたらよいでしょうか?

A : はじめは、誰でも学級経営、特に子どもとの人間関係、授業展開、保護者との関係づくりなどに悩みを持つものです。学級経営案を再確認し、一つ一つ誠実に取り組むことが大切です。子どもとの関係は、休み時間に一緒に遊ぶ、談笑する、掃除や係りの仕事などをできるだけ一緒にするなど、こちらから関係づくりに積極的にかかわることが大事です。

子どもの同士の人間関係に気を付け、いじめに悩む子どもが出ないように指導・対応をきめ細かやかに進めるようにします。不登校の子どもがいた場合は、何が要因か慎重に捉え、それを解消する方向で対応します。学年の先生や先輩教師の経験談を聞いて参考にしたり、具体的に相談に乗ったりしてもらい指導を求めることも重要です。また、同僚とざっくばらんに情報交換をして、研修することも効果的です。



★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。